

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-67172

(P2005-67172A)

(43) 公開日 平成17年3月17日(2005.3.17)

(51) Int.Cl.⁷

B 3 2 B 7/06
 B 3 2 B 27/00
 B 4 2 D 15/00
 B 4 2 D 15/10
 // B 4 2 D 15/02

F I

B 3 2 B 7/06
 B 3 2 B 27/00
 B 3 2 B 27/00
 B 3 2 B 27/00
 B 4 2 D 15/00 3 7 1

テーマコード (参考)

2 C 0 0 5
 4 F 1 0 0

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 17 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2003-304117 (P2003-304117)

(22) 出願日 平成15年8月28日 (2003.8.28)

(71) 出願人 500220865

キョーエイ・ビジネス株式会社

大阪府守口市南寺方東通1丁目4番4号

(74) 代理人 100109472

弁理士 森本 直之

(72) 発明者 小牟田 義弘

大阪府守口市南寺方東通1丁目4番4号

キョーエイ・ビジネス株式会社内

Fターム(参考) 2C005 HB01 HB04 HB08 HB09 HB20
 JA01 KA02 KA06 KA37 KA40
 KA41 LA04 LA18 LA22 MB02
 MB03 MB09 NA08 NB01 PA03
 PA14 PA18 PA21 PA22 RA05
 RA10

最終頁に続く

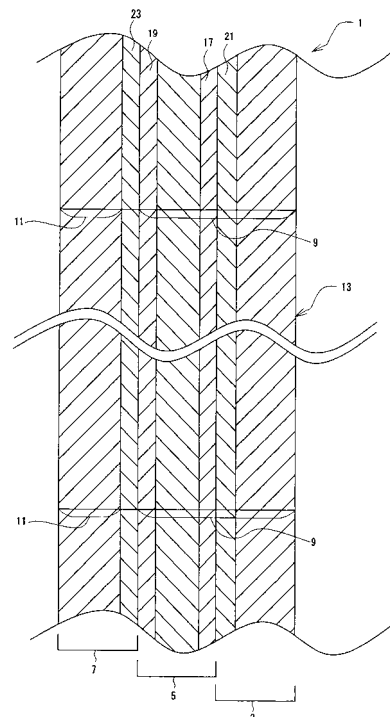
(54) 【発明の名称】 印刷用紙

(57) 【要約】

【課題】使用者がカードの両面に自由な書き込みを行なうことができるとともに、カードの耐久性を向上させることができる印刷用紙を提供する。

【解決手段】本発明の印刷用紙1は、第1接着層21を有する印刷用シート3と、一面が上記印刷用シート3の第1接着層21に対して剥離可能に積層された剥離シート5と、第2接着層23を有し、上記第2接着層23が上記剥離シート5の他面に対して剥離可能に積層された樹脂シート7とを備える。上記印刷用シート3と剥離シート5と樹脂シート7との積層部に、切り取り線9、11で囲まれた切り離し可能なカード部13が設けられ、上記カード部13のうち印刷用シート3と剥離シート5とが第1接着層21を介して積層された状態で上記樹脂シート7と第2接着層23を残して剥離しうようになっている。

【選択図】 図4



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

第 1 接着層を有する印刷用シートと、
一面が上記印刷用シートの第 1 接着層に対して剥離可能に積層された剥離シートと、
第 2 接着層を有し、上記第 2 接着層が上記剥離シートの他面に対して剥離可能に積層された樹脂シートとを備え、

上記印刷用シートと剥離シートと樹脂シートとの積層部に、切り取り線で囲まれた切り離し可能なカード部が設けられ、上記カード部のうち印刷用シートと剥離シートとが第 1 接着層を介して積層された状態で上記樹脂シートと第 2 接着層を残して剥離しうるようになっていることを特徴とする印刷用紙。

10

【請求項 2】

上記樹脂シートの切り取り線が、断続的な切れ込みからなるものである請求項 1 記載の印刷用紙。

【請求項 3】

上記印刷用シートから上記剥離シートにわたる切り取り線が、実質的に連続する切れ込みからなるものである請求項 1 または 2 記載の印刷用紙。

【請求項 4】

上記第 2 接着層の接着力が上記第 1 接着層の接着力より弱い請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の印刷用紙。

【請求項 5】

同じ大きさ形状の上記カード部が偶数個設けられた請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の印刷用紙。

20

【請求項 6】

折り目を有し、上記カード部が上記折り目を対称軸として重なり合うように配置されている請求項 5 記載の印刷用紙。

【請求項 7】

上記カード部が上記切り取り線を境界として他のカード部と隣接するように配置されている請求項 5 または 6 記載の印刷用紙。

【請求項 8】

上記樹脂シートは透明である請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の印刷用紙。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、切り離し可能なカード部を有する印刷用紙に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

切り離し可能なカード部を有する印刷用紙として、封筒の宛先を記載する部位の裏面側に各種の情報を記載し、あるいは各種カードを接合一体化したカード部を作り、そのカード部の周囲を切断線としたことにより、カード部を封筒から容易に切り離すことが可能となり、切り離されたカード部は会員証や管理カードとして使用することができる封筒が提案されている（例えば、下記の特許文献 1 参照。）。 40

【0003】

しかし、上記封筒のカードは、表面に封筒の宛先記載部位が露出したままであるため、使用を続けると、紙である宛先記載部位が破れたり汚れたりして、カードとしての耐久性に劣るという問題がある。

【0004】

そこで、切り離し可能なカード部を切り離し後にラミネート加工して、カードの耐久性を向上させることができる印刷物が提案されている（例えば、下記の特許文献 2 参照。）。

【特許文献2】特開2001-322375号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、上記のような印刷物は、カードの第2樹脂シートがラミネートされていない裏面に手書き、ゴム版、捺印、印刷などの自由な書き込みを行ない、その後、印刷物に残された上記第1樹脂シートのカード部に、上記カードのラミネートされていない裏面を対面させ、第1樹脂シートに残った接着層によって接着させる。そして、上記第1および第2樹脂シートと印刷媒体の積層体を、第1樹脂シートのカード部周辺に設けられた切り取り線から切り離し、印刷媒体の両面に第1および第2樹脂シートがラミネートされたカードを得るようになっている。 10

【0006】

すなわち、剥離された印刷媒体の表面は予め第2樹脂シートによってラミネート(積層)されているため、その裏面にしか自由な書き込みを行なうことができない。このため、印刷媒体の表面に、例えば所定の内容が書き込まれている場合には、使用者は、その内容に関する用途にしかカードを使用し難いという問題がある。また、使用者は、両面に自分の好みに応じた内容を書き込みたいという要望がある。

【0007】

本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、使用者がカードの両面に自由な書き込みを行なうことができるとともに、カードの耐久性を向上させることができる印刷用紙の提供を目的とする。 20

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記目的を達成するため、本発明の印刷用紙は、第1接着層を有する印刷用シートと、一面が上記印刷用シートの第1接着層に対して剥離可能に積層された剥離シートと、第2接着層を有し、上記第2接着層が上記剥離シートの他面に対して剥離可能に積層された樹脂シートとを備え、上記印刷用シートと剥離シートと樹脂シートとの積層部に、切り取り線で囲まれた切り離し可能なカード部が設けられ、上記カード部のうち印刷用シートと剥離シートとが第1接着層を介して積層された状態で上記樹脂シートと第2接着層を残して剥離しうるようになっていることを要旨とする。 30

【発明の効果】

【0009】

すなわち、本発明の印刷用紙では、上記印刷用シートと剥離シートと樹脂シートとの積層部に、切り取り線で囲まれた切り離し可能なカード部が設けられ、上記カード部のうち印刷用シートと剥離シートとが第1接着層を介して積層された状態で上記樹脂シートと第2接着層を残して剥離しうるようになっている。

【0010】

したがって、使用者は、上記カード部のうち印刷用シートの第1接着層を有しない印刷面に、手書き、ゴム版、捺印、印刷などの自由な書き込みを行なうことができる。その後、上記カード部の印刷面を印刷用紙に残された第2接着層のカード部に対面させ、第1接着層を介して樹脂シートと接着させる。そして、上記カード部から剥離シートを剥離し、第1接着層を剥き出しにする。このように第1接着層を剥き出しにした状態のカード部を2つ用意し、そのカード部とカード部を第1接着層を介して接着させることで両面に自由な書き込みがされ、樹脂シートによってラミネートされたカードができる。 40

【0011】

すなわち、使用者は、印刷面に自由な書き込みを行ない、その面にラミネート加工を手軽に施すことができるため、自分の趣向に応じ、かつ耐久性に優れたカードを気軽に作成することができる。このように、使用者は、印刷用紙から手軽に耐久性に優れ、用途に応じたカードを得ることができるため、カードをさまざまな用途に使用することができる。また、印刷用シートの両面に樹脂シートがラミネートされたカードを容易に形成すること 50

ができるため、定期入れ等に入れて携帯しても、しわになったり傷んだりし難く、非常に耐久性に優れる。また、印刷用シートのカード部に書き込みをした後に書き込みの上を樹脂シートでラミネートすることができるため、書き込みが消えたり、汚損することがほとんどなくなる。

【 0 0 1 2 】

本発明において、上記樹脂シートの切り取り線が、断続的な切れ込みからなるものである場合には、カード部を切り離す前は、カード部が印刷用紙から容易に切り離されないように保持するとともに、樹脂シートの切り離しが必要になったときには、上記切れ込みから上記樹脂シートのカード部を容易に切り離すことができる。

【 0 0 1 3 】

本発明において、上記印刷用シートから上記剥離シートにわたる切り取り線が、実質的に連続する切れ込みからなるものである場合には、カード部のうち剥離シートと印刷用シートを樹脂シートから容易に剥離することができる。

【 0 0 1 4 】

本発明において、上記第 2 接着層の接着力が上記第 1 接着層の接着力より弱い場合には、容易に、上記カード部のうち印刷用シートと剥離シートとが第 1 接着層を介して積層された状態で上記樹脂シートと第 2 接着層を残して容易に剥離することができる。すなわち、上記カード部のうち印刷用シートと剥離シートを上記樹脂シートと第 2 接着層を残して剥離する前に印刷用シートと剥離シートとが剥離してしまうことを防止することができる。

【 0 0 1 5 】

本発明において、同じ大きさ形状のカード部が偶数個設けられた場合には、一の印刷用紙でカードを作成することができる。また、一の印刷用紙に半端なカード部がでないため、好適である。

【 0 0 1 6 】

本発明において、折り目を有し、上記カード部が上記折り目を対称軸として重なり合うように配置されている場合には、折り目に沿って印刷用紙を折ることで、容易にカード部とカード部とをぴったり重ね合わせることができる。例えば、第 1 粘着層が剥き出しの状態のカード部が第 2 接着層のカード部に対面して樹脂シートと接着している場合に、折り目に沿って印刷用紙を折ることで、対称関係のカード部とカード部をぴったりと貼り合わせる。これにより、見た目のきれいなカードを容易に作成することができる。

【 0 0 1 7 】

本発明において、上記カード部が上記切り取り線を境界として他のカード部と隣接するように配置されている場合には、上記カード部は他のカード部と上記切り取り線を対称軸として対称関係になる。そして、上記切り取り線で印刷用紙を折ることで、容易にカード部とカード部とをぴったり重ね合わせることができる。すなわち、上記カード部を囲む切り取り線と他のカード部を囲む切り取り線が共用されることで、上記カード部と他のカード部の位置が近くなるため、使用者は重ね合わせ始める位置を捉えやすくなる。これにより、使用者が印刷用紙の撓みや重ね合わせ始める位置のずれ等によりカード部とカード部とがずれた状態で重ね合わせてしまうことを防止することができ、一層見た目のきれいなカードを容易に作成することができる。

【 0 0 1 8 】

本発明において、上記樹脂シートは透明である場合には、使用者は樹脂シートを透して印刷用シートに書き込まれた内容をはっきり視認することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 9 】

つぎに、本発明を実施するための最良の形態を説明する。以下の説明は、樹脂シートとして、ポリエステル（特に P E T ）を採用し、カードの耐久性の向上を実現した例を示す。

10

20

30

40

50

【実施例 1】

【0020】

図 1 ~ 図 3 は、本発明の第 1 の実施例の印刷用紙の外観を示す。

【0021】

上記印刷用紙 1 は、後述の第 1 接着層 2 1 (図 4 参照) を有する印刷用シート 3 と、一面が印刷用シート 3 の第 1 接着層 2 1 に対して剥離可能に積層された剥離シート 5 と、後述の第 2 接着層 2 3 (図 4 参照) を有し、第 2 接着層 2 3 が剥離シート 5 の他面に対して剥離可能に積層された樹脂シート 7 とを備える。印刷用シート 3 と剥離シート 5 と樹脂シート 7 との積層部には、切り取り線 (切れ込み) 9, 11 で囲まれた切り離し可能なカード部 1 3 が設けられている。そして、カード部 1 3 のうち印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが第 1 接着層 2 1 を介して積層された状態で樹脂シート 7 と第 2 接着層 2 3 を残して剥離しうるようになっている。

10

【0022】

図 1 および図 2 に示すように、上記印刷用紙 1 には、同じ大きさ形状の 6 つ (偶数個) の略長方形のカード部 1 3 が設けられている。なお、図 1 に示す左上のカード部 1 3 は、カード部 1 3 のうち剥離シート 5 と印刷用シート 3 とが積層された状態で樹脂シート 7 から約半分剥離され、樹脂シート 7 が視認できる状態である。

【0023】

本実施例では、上記印刷用紙 1 は、プリンタ等の印刷装置において使用でき、上記印刷用シート 3 の印刷面 (図 1 に示す印刷用紙 1 の手前側の面) には印刷用加工が施されている。印刷用加工としては、例えば、染料インクと親和する受容層の形成等が採用される。

20

【0024】

また、上記樹脂シート 7 としては、いわゆる P E T を採用しているが、これに限定するものではなく、各種のものをを用いることができる。例えば、ポリエステル、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレン、塩化ビニル樹脂、塩化ビニリデン樹脂等からなる単層のプラスチックフィルムや、複数のプラスチックフィルムのラミネートフィルム等があげられる。これらの中でも、ポリエステル、特に P E T は、透明性、強靱性、電気絶縁性、寸法安定性に優れているため、好適に用いることができる。

【0025】

上記のように、樹脂シート 7 として、無色で透明性のある P E T を用いているため、使用者は樹脂シート 7 を透して印刷用シート 3 に書き込まれた内容をはっきり視認することができる。また、本実施例のように無色透明な樹脂シート 7 に限られず、適度に着色された透明の樹脂シート 7 や半透明な樹脂シート 7 を採用することもできる。

30

【0026】

上記樹脂シート 7 のカード部 1 3 を形成する切り取り線 1 1 (図 2 参照) は、断続的な切れ込み (いわゆるミシン目) からなるものである。このため、カード部 1 3 を切り離す前は、カード部 1 3 が印刷用紙 1 から容易に切り離されないように保持するとともに、樹脂シート 7 の切り離しが必要になったときには、切れ込み 1 1 から樹脂シート 7 のカード部 1 3 を容易に切り離すことができる。

【0027】

印刷用シート 3 と剥離シート 5 のカード部 1 3 を形成する切り取り線 9 は、上記印刷用シート 3 から剥離シート 5 にわたり、実質的に連続する切れ込みからなるものである。このため、カード部 1 3 のうち剥離シート 5 と印刷用シート 3 を樹脂シート 7 から容易に剥離することができる。

40

【0028】

つぎに、図 4 を参照して、印刷用紙 1 の積層について説明する。

【0029】

上記剥離シート 5 の両面には易剥離加工が施されている。具体的には、上記剥離シート 5 の両面にシリコーン被覆層 1 7, 1 9 が形成されている。上記易剥離加工としては、第 1 接着層 2 1 および第 2 接着層 2 3 から容易に剥離できるものであれば特に限定するもの

50

ではなく、例えば、フッ素樹脂コーティング、シリコンフッ素樹脂コーティング、エンボス加工、ブラスト加工等が採用される。

【 0 0 3 0 】

上記印刷用シート 3 は、その片面に第 1 接着層 2 1 が設けられ、その第 1 接着層 2 1 を介して剥離シート 5 のシリコン被覆層 1 7 と貼り合わされている。上記樹脂シート 7 は、その片面に第 2 接着層 2 3 が設けられ、その第 2 接着層 2 3 を介して剥離シート 5 のシリコン被覆層 1 9 と貼り合わされている。

【 0 0 3 1 】

そして、この例では、印刷用シート 3 から剥離シート 5 にわたる切り取り線 9 を実質的に連続する切れ込みから形成するとともに、樹脂シート 7 の切り取り線 1 1 を断続的なミシン目から形成することにより、印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが積層された状態で上記樹脂シート 7 から容易に剥離できるようになっている。

10

【 0 0 3 2 】

また、上記第 2 接着層 2 3 の接着力は第 1 接着層 2 1 の接着力より弱いものが使用されている。これによっても、カード部 1 3 のうち印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが第 1 接着層 2 1 を介して積層された状態で樹脂シート 7 と第 2 接着層 2 3 を残して容易に剥離することができる。すなわち、カード部 1 3 のうち印刷用シート 3 と剥離シート 5 を樹脂シート 7 と第 2 接着層 2 3 を残して剥離する前に印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが剥離してしまうことを防止することができる。

【 0 0 3 3 】

つぎに、図 5 ~ 図 1 1 を参照して、積層カードの作成手順の一例について説明する。なお、図 5 では、それぞれ印刷用紙 1 の一部を省略して示している。

20

【 0 0 3 4 】

まず、図 5 (1) に示す印刷用シート 3 の印刷面は、図 6 に示すように、カード部 1 3 の印刷面に、作成されたカード (図 1 1 参照) の表および裏となる面に手書き、ゴム版、捺印、印刷などの自由な書き込みが行なわれた状態である。この後、図 5 (2) に示すように、カード部 1 3 のうち印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが積層された状態で樹脂シート 7 から剥離する。このとき、切り取り線 9 は、実質的に連続する切れ込みからなるものであるため、樹脂シート 7 から印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが積層されたカード部 1 3 を容易に剥離することができる。また、樹脂シート 7 のカード部 1 3 が断続的な切れ込み 1 1 で囲まれているため、樹脂シート 7 のカード部 1 3 が不用意に切り離されてしまうことが防止される。

30

【 0 0 3 5 】

また、上記第 2 接着層 2 3 の接着力は第 1 接着層 2 1 の接着力より弱いものが使用されているため、印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが剥離してしまうことを防止され、カード部 1 3 のうち印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが積層された状態で樹脂シート 7 から剥離し易くなっている。

【 0 0 3 6 】

ついで、図 5 (3) に示すように、樹脂シート 7 から剥離した印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが積層されたカード部 1 3 を裏返す。この後、図 5 (4) および図 7 に示すように、印刷用シート 3 と剥離シート 5 とが積層されたカード部 1 3 の印刷用シート 3 の印刷面が印刷用紙 1 に残された樹脂シート 7 のカード部 1 3 に対面するように、上記第 1 接着層 2 1 を介して樹脂シート 7 と接着させる。このようにすることで、図 5 (5) に示すように、印刷用シート 3 の印刷面が樹脂シート 7 によってラミネート (ラミネート加工) される。

40

【 0 0 3 7 】

つぎに、図 5 (6) および図 8 に示すように、印刷用紙 1 からカード部 1 3 を構成する剥離シート 5 と印刷用シート 3 と樹脂シート 7 との積層体を、切り取り線 9 , 1 1 から切り離す。このようにすることで、図 5 (7) に示すように、剥離シート 5 と接着した印刷用シート 3 の印刷面が樹脂シート 7 によってラミネートされたカード部 1 3 が印刷用紙 1

50

から分離する。

【0038】

ついで、図5(8)および図9に示すように、剥離シート5と印刷用シート3と樹脂シート7からなるカード部13から剥離シート5を剥離する。これにより、上記第1接着層21が剥き出しになる。その後、図10(A)に示すように、上記第1接着層21を剥き出しにした状態のカード部13を2つ用意し、図5(9)および図10(B)に示すように、そのカード部13とカード部13を第1接着層21を介して貼り合わせる(接着させる)。上記印刷用紙1には、上記カード部13が偶数個設けられているため、一の印刷用紙1でカードを作成することができるとともに、一の印刷用紙1に余ったカード部13がでないため、好適である。

10

【0039】

上記のようにカード部13とカード部13を貼り合わせることで、図5(10)および図11に示すように、両面に自由な書き込みがされ、樹脂シート7によってラミネートされたカード(カード部13とカード部13が貼り合わされた積層カード)ができる。

【0040】

したがって、使用者は、印刷面に自由な書き込みを行ない、その面にラミネート加工を手軽に施すことができるため、自分の趣向に応じ、耐久性に優れたカードを気軽に作成することができる。このように、使用者は、印刷用紙1から手軽に耐久性に優れ、用途に応じたカードを得ることができるため、カードをさまざまな用途に使用することができる。また、印刷用シート3の両面に樹脂シート7がラミネートされたカードを容易に形成することができるため、定期入れ等に入れて携帯しても、しわになったり傷んだりし難く、非常に耐久性に優れる。また、印刷用シート3のカード部13に書き込みをした後に書き込みの上を樹脂シートでラミネートすることができるため、書き込みが消えたり、汚損することがほとんどなくなる。

20

【0041】

また、上記印刷用紙1には、上記カード部13が偶数個設けられているため、一の印刷用紙1でカードを作成することができる。また、一の印刷用紙1に半端なカード部13がでないため、好適である。

【実施例2】

【0042】

図12～図16は、本発明の第2の実施例を示す。

30

【0043】

本実施例では、印刷用紙1には、図13に示すように、略中央(中央を含む)に上端から下端に向かって形成された折り目31が設けられ、左右のカード部13は折り目31を対称軸として重なり合うように配置されている。また、第1の実施例の図5(6)～図5(10)に示すカードの作成手順に代えて図12(1)～図12(5)に示す作成手順を採用している。それ以外は、上記第1の実施例と同様であり、同様の部分には同じ符号を付している。また、上記第1の実施例と同様の作用効果を奏する。

【0044】

つぎに、図12～図16を参照して、カードの作成手順の一例について説明する。なお、図12では、それぞれ印刷用紙1の一部を省略して示している。

40

【0045】

まず、図5(1)～図5(5)までの手順の後、図12(1)および図13に示すように、左右に対称関係のカード部13の剥離シート5を剥離し、上記第1接着層21を剥き出しにする。そして、図12(2)および図14に示すように、印刷用紙1を折り目31に沿って折る。このように折り目31に沿って折ることで、カード部13とカード部13とがぴったりと重なるように案内される。

【0046】

つぎに、図12(3)および図15に示すように、左右に対称関係のカード部13とカード部13を接着する。その後、図12(4)および図16に示すように、印刷用紙1が

50

ら左右に対称関係のカード部 13 とカード部 13 が貼り合わされた積層体（積層カード）を、切り取り線 9, 11 から切り離す。このようにすることで、図 12（5）および図 11 に示すように、使用者によって両面に自由な書き込みがされ、かつラミネート加工された積層カードができる。

【0047】

上記のように、第 1 接着層 21 が剥き出しの状態のカード部 13 が第 2 接着層 23 のカード部 13 に対面して樹脂シート 7 と接着している場合に、折り目 31 に沿って印刷用紙 1 を折ることで、対称関係のカード部 13 とカード部 13 をぴったりと貼り合わせることができ、見た目のきれいなカードを容易に作成することができる。

【0048】

上記各実施例において、上記カード部に、磁気記録層を設けてもよい。この場合、例えば、前述の樹脂シートと印刷用シートの上に磁気テープや磁気フィルムを挟み込んでもよい。こうすることにより、診察券や会員証等だけでなく、情報が記録できる磁気記録カード等として銀行カードや住民カード、クレジットカード、プリペイドカード等、各種の用途に用いることができ、便利である。

【実施例 3】

【0049】

図 17 ~ 図 21 は、本発明の第 3 の実施例を示す。

【0050】

本実施例では、印刷用紙 1 には、略中央（中央を含む）に上端から下端に向かって形成された折り目 31 が設けられ、カード部 13 が切り取り線 9, 11 を境界として他のカード部 13 と隣接するように配置されている。

【0051】

また、第 1 の実施例の図 5（6）~ 図 5（10）に示すカードの作成手順に代えて図 17（1）~ 図 17（5）に示す作成手順を採用している。それ以外は、上記第 1 の実施例と同様であり、同様の部分には同じ符号を付している。また、上記第 1 の実施例と同様の作用効果を奏する。

【0052】

より詳しく説明すると、図 18、図 19 に示すように、左のカード部 13 と右のカード部 13 は、左のカード部 13 の右辺を構成する切り取り線 9, 11 と右のカード部 13 の左辺を構成する切り取り線 9, 11 を共用するように配置されている。この左右のカード部 13 が共用する切り取り線 9, 11 が折り目 31 上に位置するため、カード部 13 は他のカード部 13 と切り取り線 9, 11 を境界として対称関係になる。

【0053】

つぎに、図 17 ~ 図 21 を参照して、カードの作成手順の一例について説明する。なお、図 17 では、それぞれ印刷用紙 1 の一部を省略して示している。

【0054】

まず、図 5（1）~ 図 5（5）までの手順の後、図 17（1）および図 18 に示すように、左右に対称関係のカード部 13 の剥離シート 5 を剥離し、上記第 1 接着層 21 を剥き出しにする。そして、図 17（2）および図 19 に示すように、印刷用紙 1 を折り目 31 に沿って折る。このように折り目 31 に沿って折ることで、カード部 13 とカード部 13 とがぴったりと重なるように案内される。

【0055】

つぎに、図 17（3）および図 20 に示すように、左右に対称関係のカード部 13 とカード部 13 を接着する。このとき、カード部 13 と他のカード部 13 の位置が近いため、使用者は、重ね合わせ始める位置（例えば、印刷用シート 3 のうちカード部 13 が共用する切り取り線 9, 11 の近傍の第 1 接着層 21）を捉えやすい。重ね合わせ始めてぴったりと重ね合わせることで、残りの第 1 接着層 21 にも容易にぴったりと重ね合わせることができる。

【0056】

10

20

30

40

50

ついで、図 17 (4) および図 20 に示すように、印刷用紙 1 から左右に対称関係のカード部 13 とカード部 13 が貼り合わされた積層体 (積層カード) を、切り取り線 9, 11 から切り離す。このようにすることで、図 17 (5) および図 11 に示すように、使用者によって両面に自由な書き込みがされ、かつラミネート加工された積層カードができる。

【0057】

上記のように、第 1 接着層 21 が剥き出しの状態のカード部 13 が第 2 接着層 23 のカード部 13 に対面して樹脂シート 7 と接着している場合に、切り取り線 9, 11 を境界として印刷用紙 1 を折ることで、容易にカード部 13 とカード部 13 とをぴったり重ね合わせることができる。すなわち、カード部 13 を囲む切り取り線 9, 11 と他のカード部 13 を囲む切り取り線 9, 11 が共用されることで、カード部 13 と他のカード部 13 の位置が近くなるため、使用者は重ね合わせ始める位置を捉えやすくなる。これにより、使用者が印刷用紙 1 の撓みや重ね合わせ始める位置のずれ等によりカード部 13 とカード部 13 とがずれた状態で重ね合わせてしまうことを防止することができ、一層見た目のきれいなカードを容易に作成することができる。

10

【0058】

また、折り目 31 は、カード部 13 の外にも位置するため、印刷用紙 1 から左右に対称関係のカード部 13 とカード部 13 が貼り合わされた積層体 (積層カード) が、切り取り線 9, 11 から切り離されても、残りのカード部 13 とカード部 13 とがぴったりと重なるように案内することができる。

20

【0059】

また、図 5 (9)、図 12 (2) および図 17 (2) に示すカード部 13 とカード部 13 との貼り合わせの際に、カード部 13 とカード部 13 との間に磁気記録層を存在させてもよい。また、カード部の第 1 粘着層または第 1 粘着層から印刷用シートにわたって凹部を設けてもよい。こうすることで、上記凹部に磁気記録層等の挟み込んだ物を収容することができ、磁気記録層等の厚みによってカードの厚みが増すことを防止することができる。

【0060】

また、上記磁気記録層と同じように IC チップや読み書き用のアンテナを設けてもよい。これにより、例えば、高密度情報が記録できる IC カードやメモリカード等として利用でき、プリペイドカードやゲームカード等各種の用途に用いることができる。

30

【0061】

また、上記各実施例において、前述の印刷用紙 (特に、カード部) にいわゆるホログラムを設けてもよい。例えば、カード部にホログラムを設けることにより、カードの信憑性やデザインを向上させることができる。また、前述の印刷用シート、剥離シート、樹脂シートの厚み、素材、硬さ、形状、色彩、模様等は、任意に設定することができる。これにより、使用者にバラエティーに富んだカードを提供することができる。

【0062】

上記各実施例では、切り離し可能なカード部が略長方形であるものを例示したが、これに限定するものではなく、ハート型や星型等各種の形状にすることができる。

40

【産業上の利用可能性】

【0063】

上記印刷用シートと剥離シートと樹脂シートとの積層部に、切り取り線で囲まれた切り離し可能なカード部が設けられ、上記カード部のうち印刷用シートと剥離シートとが第 1 接着層を介して積層された状態で上記樹脂シートと第 2 接着層を残して剥離しうるようしたことで、使用者がカードの両面に自由な書き込みを行なうことができるとともに、カードの耐久性を向上させる用途に適用できる。

【図面の簡単な説明】

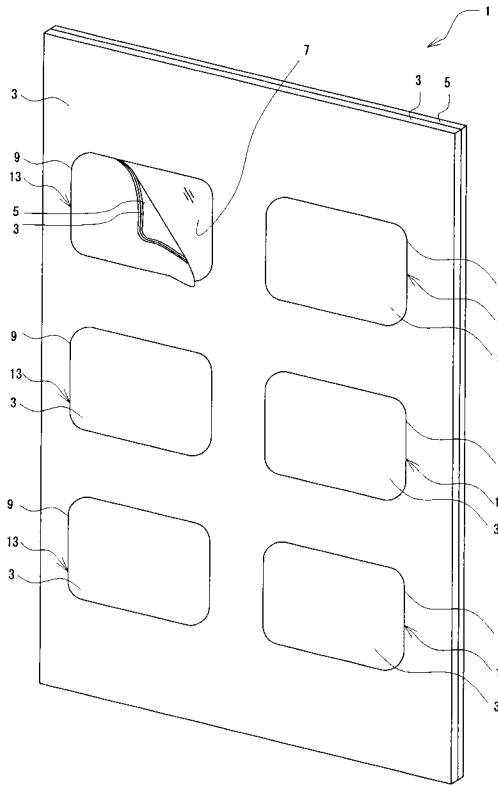
【0064】

【図 1】本発明の第 1 の実施例の印刷用紙の印刷用シートを示す斜視図である。

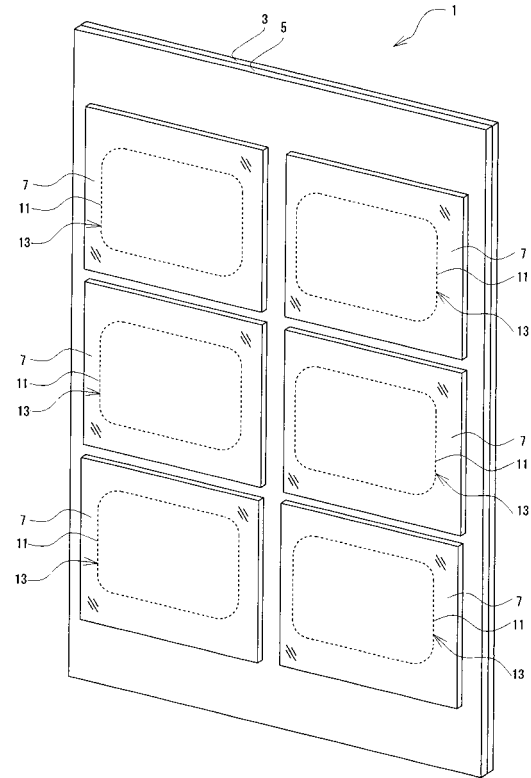
50

- 【図 2】印刷用紙の樹脂シート側を示す斜視図である。
- 【図 3】印刷用紙を示す展開図である。
- 【図 4】印刷用紙を示す断面図である。
- 【図 5】カードの作成手順を示す断面図である。
- 【図 6】印刷用紙の印刷用シート側を示す平面図である。
- 【図 7】印刷用紙の印刷用シート側の拡大図である。
- 【図 8】印刷用紙の印刷用シート側の拡大図である。
- 【図 9】印刷用紙から切り離されたカード部の拡大図である。
- 【図 10】カード部の貼り合わせを示す図である。
- 【図 11】作成されたカードを示す図である。 10
- 【図 12】第 2 の実施例のカードの作成手順を示す断面図である。
- 【図 13】印刷用紙の印刷用シート側を示す平面図である。
- 【図 14】折り目に沿って折られた印刷用紙を示す斜視図である。
- 【図 15】カード部の貼り合わせを示す図である。
- 【図 16】印刷用紙からカード部を切り離している状態を示す斜視図である。
- 【図 17】第 3 の実施例のカードの作成手順を示す断面図である。
- 【図 18】印刷用紙の印刷用シート側を示す平面図である。
- 【図 19】折り目に沿って折られた印刷用紙を示す斜視図である。
- 【図 20】カード部の貼り合わせを示す図である。
- 【図 21】印刷用紙からカード部を切り離している状態を示す斜視図である。 20
- 【符号の説明】
- 【0065】
- | | | |
|----|----------|----|
| 1 | 印刷用紙 | |
| 3 | 印刷用シート | |
| 5 | 剥離シート | |
| 7 | 樹脂シート | |
| 9 | 切り取り線 | |
| 11 | 切り取り線 | |
| 13 | カード部 | |
| 17 | シリコーン被覆層 | 30 |
| 19 | シリコーン被覆層 | |
| 21 | 第 1 接着層 | |
| 23 | 第 2 接着層 | |
| 31 | 折り目 | |

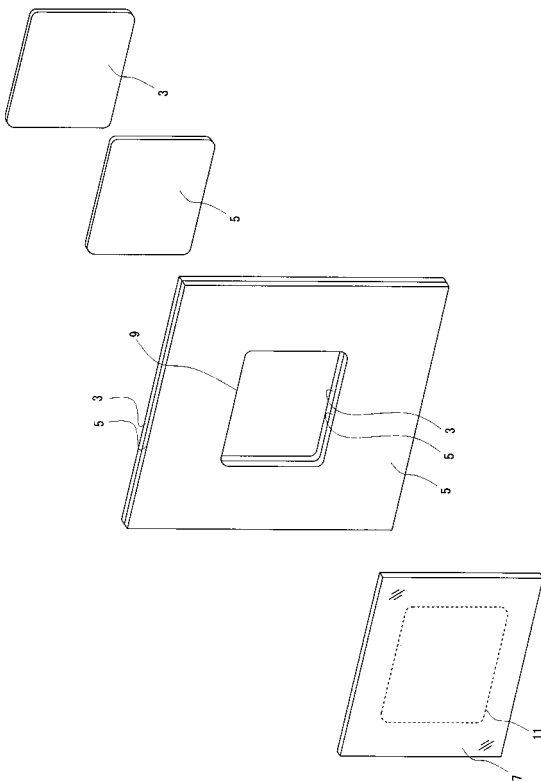
【図 1】



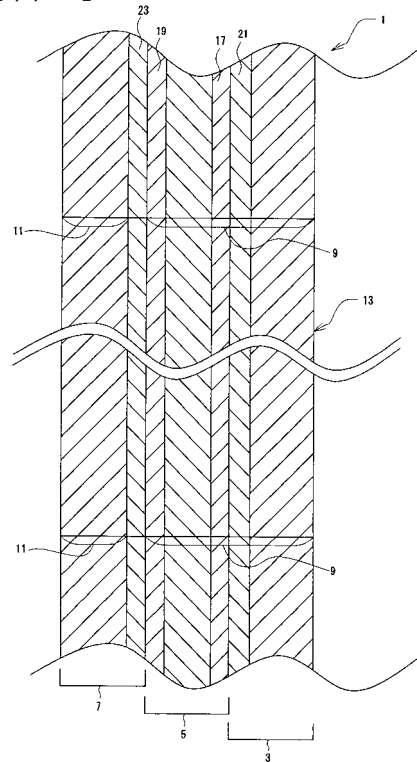
【図 2】



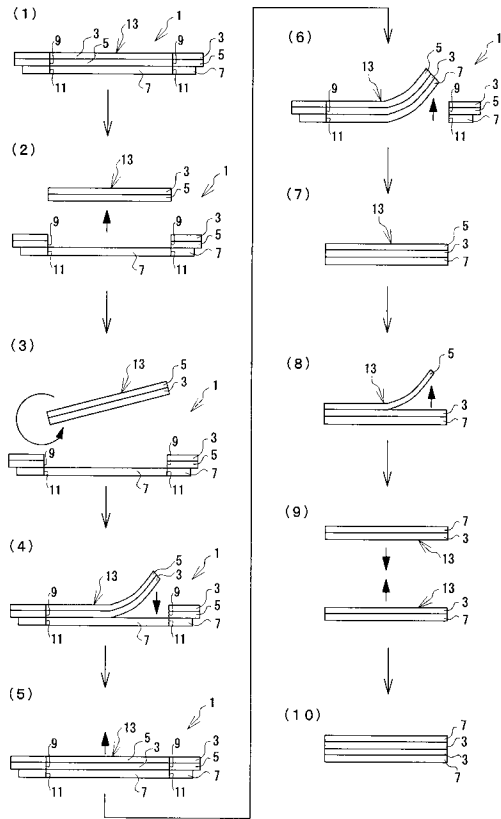
【図 3】



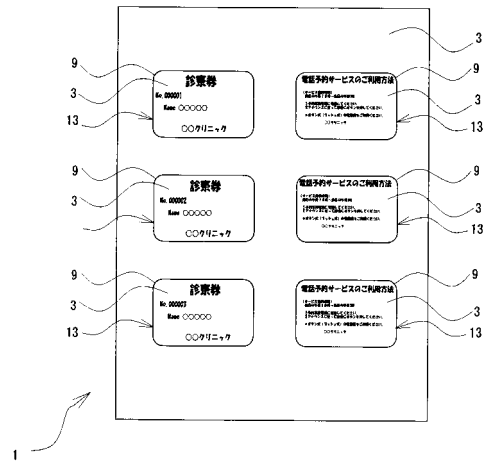
【図 4】



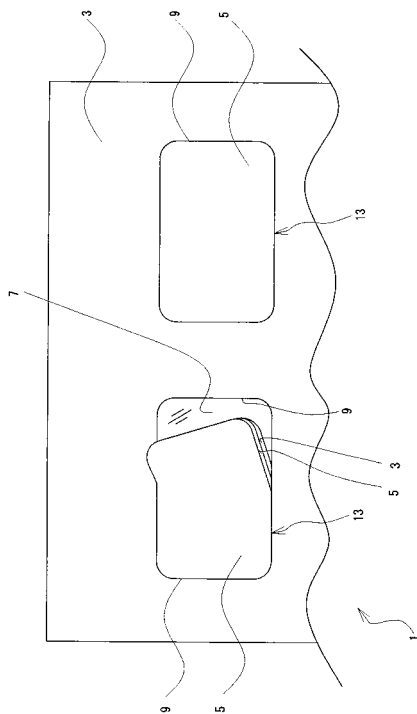
【図 5】



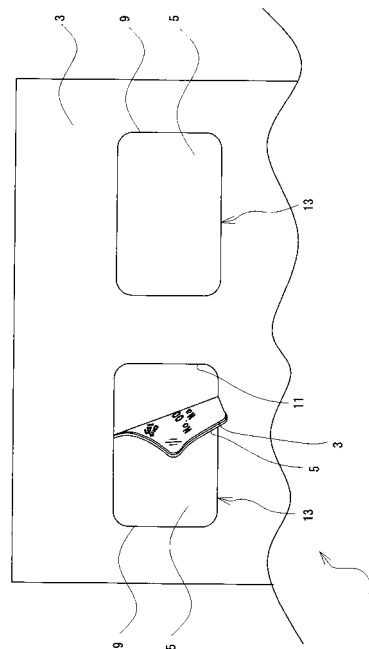
【図 6】



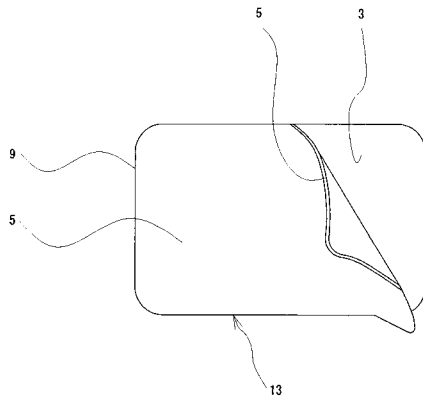
【図 7】



【図 8】

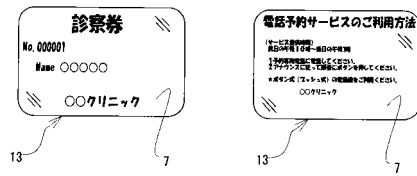


【図 9】

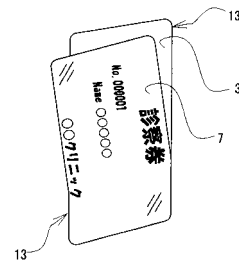


【図 10】

(A)



(B)

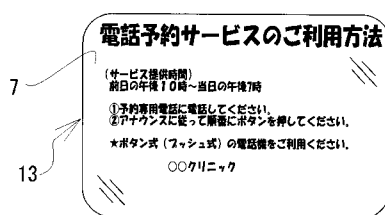


【図 11】

(表)

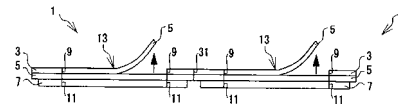


(裏)

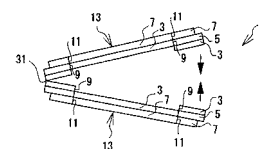


【図 12】

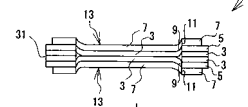
(1)



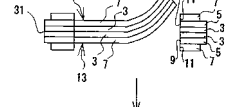
(2)



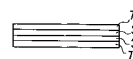
(3)



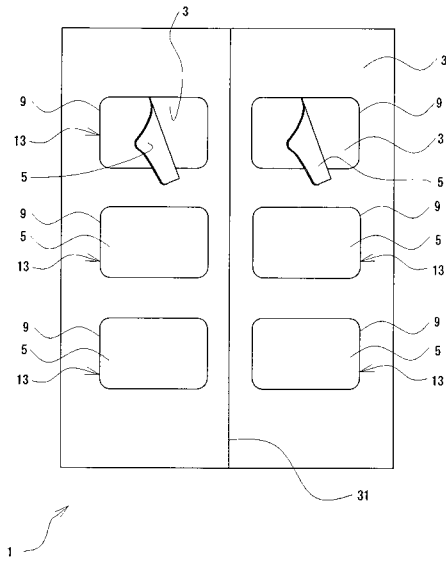
(4)



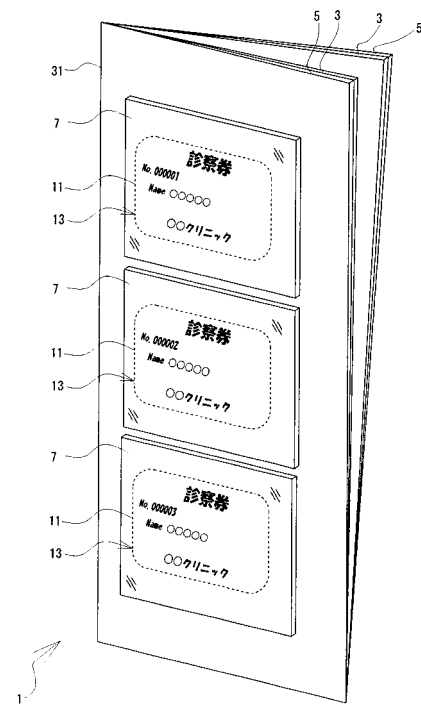
(5)



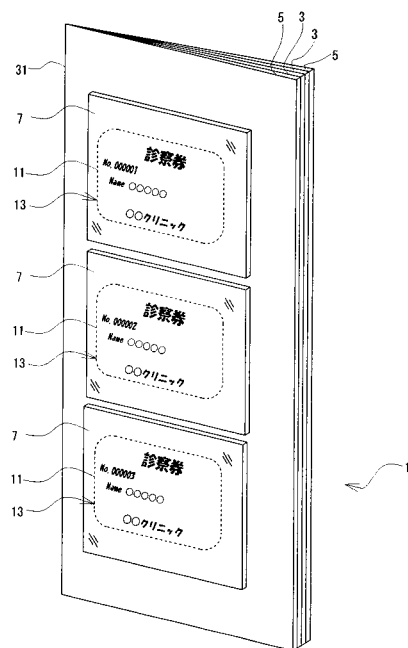
【図 13】



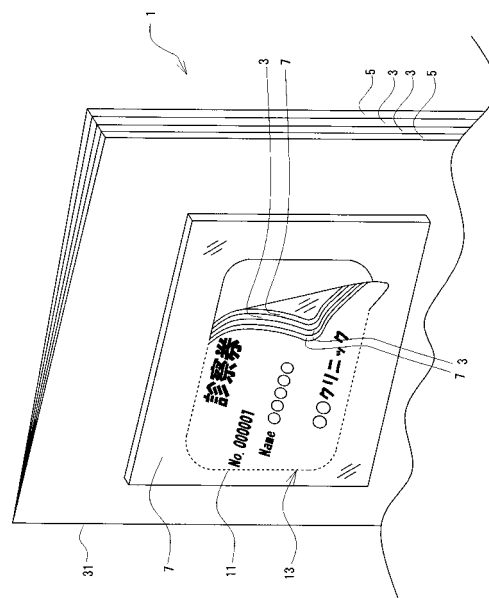
【図 14】



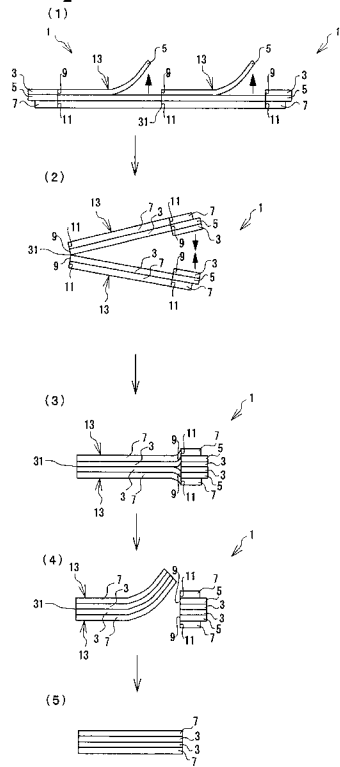
【図 15】



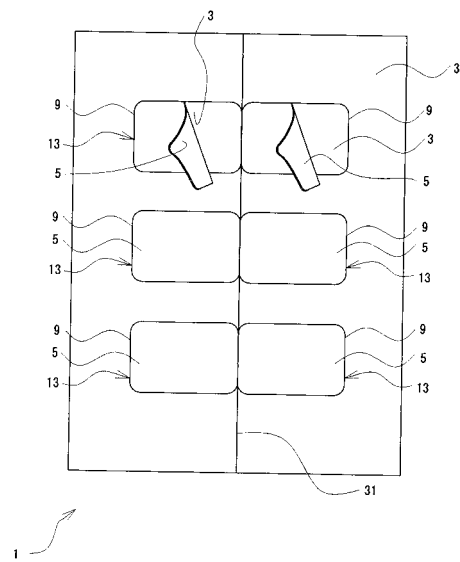
【図 16】



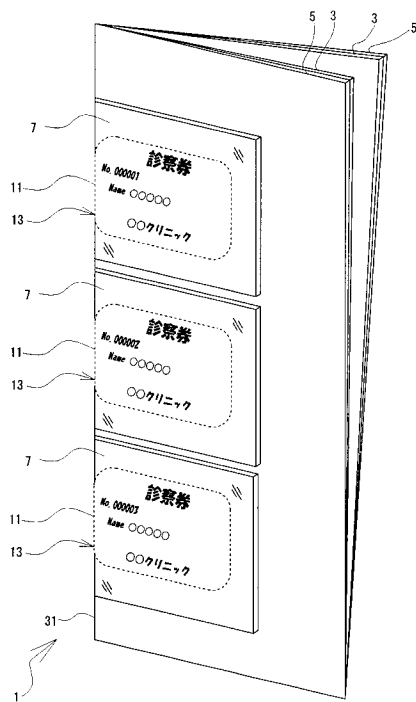
【図 17】



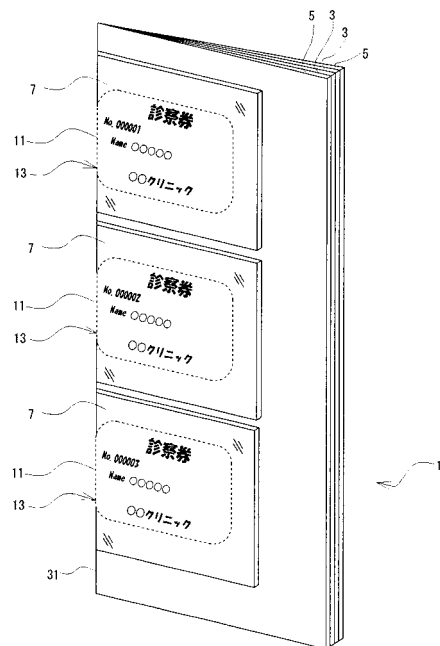
【図 18】



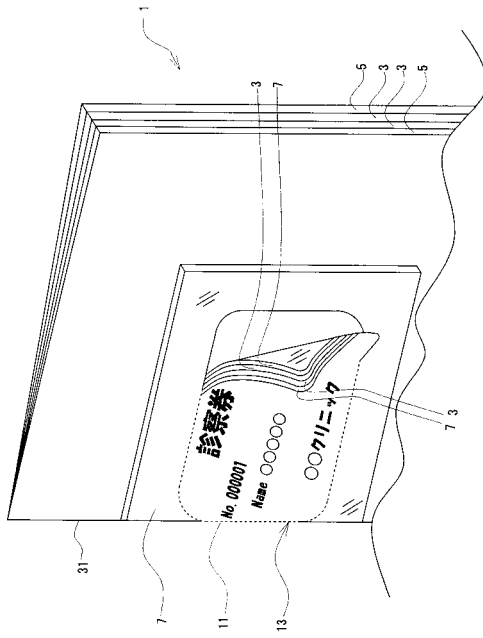
【図 19】



【図 20】



【図 2 1】



フロントページの続き(51) Int.Cl.⁷

F I

テーマコード(参考)

B 4 2 D 15/10 5 0 1 K

B 4 2 D 15/02 5 2 1

F ターム(参考) 4F100 AK01C AK42 AT00A AT00C BA03 BA07 DC11A DC11B DC11C GB71
HB31 JK06 JL14B JN01C